

感想文特選作品紹介

「町民読書感想文・感想画コンクール」より

「第14回町民読書感想文・感想画コンクール」感想文特選作品を今月号と来月号の2回にわたって掲載します。

「したきりすずめ」をよんで

中央小一年 蘭田久実



わたしは、すずめのしたをみたことはいいですが、わたしのしたとおなじだったら、おばあさんにしたをはさみでちよんぎられたおちよんはともいたかったとおもいます。もし、わたしのしたをちよんぎられたら、しんでしまうかもしれない。どうして、おちよんはおばあさんに、ねこのりをくわれんようばんをたのまれたのに、がまんできずにたべてしまったのか。のりがとつてもおいしそうで、おなかのすいていたのかな。おなべのりをぜんぶたべてしまわないで、のこしてくちのまわりについたのりをきれいにしてあつたら、おばあさんにばれずにしたをちよんぎられなかつたかもしれない。

おちよんをさがしにいったおじいさんは、おちよんに会うためにばけつのみずをなんばいものんだけど、おちよんにどうしてもあいたいきもちがなかつたら、たくさんのみずをのむことができなかったとおもいます。わたしだったら、たくさんのみずをのむのはぜつたいむりで、おちよんをさがすのをあきらめてしまおうかもしれない。やさしいおじいさんは、おちよんをさがしたごほうびに、すずめのうちにしよたいされました。ほんとうに、すずめのおうちはあるのかな。ほんとうにあったら、わたしもおじいさんのようにやさしいきもちになつて、すずめのおうちにあそびにいってすずめさんにいろいろおしえてもらいたいです。

おじいさんがすずめさんからもらつたおみやげは、おもしろいづらとかるいづら。おじいさんは、かるいづらをおいさんは、おおぼん、こぼんをもらえてよかつたです。おこりっぽいおばあさんは、おちよんにやさしくしてないのにおもしろいづらをもらつてきたら、なからへびやらむ

かのでできてきてさしころざれてしまいました。おちよんがしたをちよんぎられたしかえしを、すずめさんたちがしたのかな。わたしも、おこりっぽいきもちにならないで、おじいさんのようにやさしいひとになりたいです。

がんばれ！まけるな！

ナメクジくん

中川根第一小二年 福門勇汰



本やさんでこの本をはじめ

て見たとき、ナメクジがしおをかけられてない絵だったので、なんでかなあとおもって読んでみました。この本には、ナメクジのことカタツムリのことが書いてありました。ナメクジもカタツムリも、お日さまが大のになで、からだがかわくとしんでしまふんだって。カタツムリ

はからがあるのでもいいけど、ナメクジはひかげにげないといけないのでいそがしいなあとおもいました。さむいときもナメクジはからがないのでまるはだか。それにナメクジはきらわれものです。ほくのじつかのばあばも、ナメクジを見つけるとすぐナメキライでたいじしています。ばあばが、

「ナメクジは花を食べちゃうから。」
と言っていました。ほくもナメクジよりカタツムリのほうが、からに入つてかわいいで、すきです。本の中に、ナメクジたいじのくすりがいっぱい書いてありました。「ナメんなよ」とか「ナメクジOUT」とか書いてあつて、へんな名前だなあ、おもしろいなあとおもいました。

大むかしはカタツムリもナメクジもかいのなかまで、うみにすんでいたんだって。それで、りくでくらしたいとおもつたかいが、りくに上がつてカタツムリになりました。それで、カタツムリのなかで、からをすてたなかがナメクジになつたと書いてありました。だから、カタツムリより